

ふりかえろう“ちょうどいい”スマホとの距離感 マニュアルシート

対象: おおむね3歳～6歳の就学前の子どもをもつ保護者

時間: 30分程度

ねらい	保護者がスマートフォンやタブレットを子育てに利用することについてふりかえり、子どもとの関わり方を見つめ直すことができるようにする。		
事前の準備	○会場設営(3～4人程度のグループ) ○ワークシート ○筆記用具 ○3つの約束掲示物 ○資料(必要に応じ、資料を印刷して配付。実情に応じて選択して使用する)		
活動(時間)	アクティビティの展開	展開のポイント	準備物・備考
導入(5)	ファシリテーター自己紹介 3つの約束 アイスブレイク(自己紹介) <アイスブレイクの例> ・参加者の氏名 ・スマホ等があって便利だなと思うこと	○話し合いがしやすい雰囲気を作る。 ○3つの約束「尊重・参加・守秘」を確認する。 ○スマホ等の便利さを考える場面は、子育てに限定せず日常全般を扱う。 ※スマホ等を使用していない家庭に配慮し、興味のあるアプリや動画等でもよいことを伝える。	3つの約束掲示物
話し合い(4)	ワーク1 エピソードを読み、父親の行動について感じたことを話し合う。	○共感する点、父親の対応で気になった点やどうすればよかったのかなどを自由に話し合う。	ワークシート 筆記用具 ※スマホ等の活用により家事と子育てが両立している場合があることに留意し、父親にも共感的な姿勢を示し、子育てでのスマホ等の使用が批判的になり過ぎないように配慮する。
話し合い(10) 発表(4)	ワーク2 ①子育てにスマホ等を活用することについて、短所と長所を考え、グループで話し合う。 ②全体で共有する。	○最初に2分程度考えを個人でまとめる。 ○まず「後ろめたさを感じる面」に4分、次に「助かっている面」に4分で、それぞれグループで伝え合う。 ○共感を得られそうな意見をそれぞれピックアップし、共有する。	ワークシート 筆記用具
まとめ(7)	ふりかえり ①わが家で大切にしたい子どもとの関わり方について考える。 ②資料の配付・紹介	○“ちょうどいい”スマホ等の使用を考えながら、望ましい子どもとの関わり方についてふりかえる。 ○ワークシートに記入後、グループ内で共有する。 ○資料を配付・紹介し、家庭での活用を促す。	ワークシート 筆記用具 資料1・2・3
※資料は、対象や子どもの年齢等の実情に応じて選択して使用する。 資料の配付によりインターネットのリテラシー講座にならないよう注意する。			